

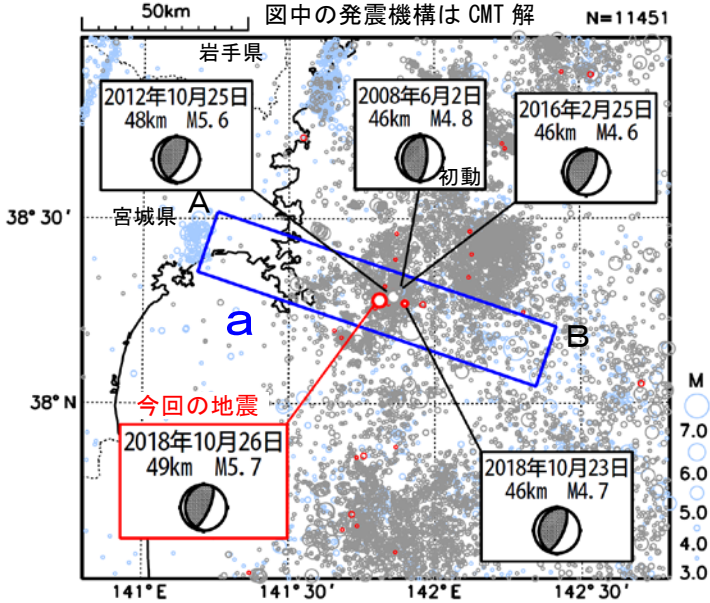
## 10月26日 宮城県沖の地震

震央分布図

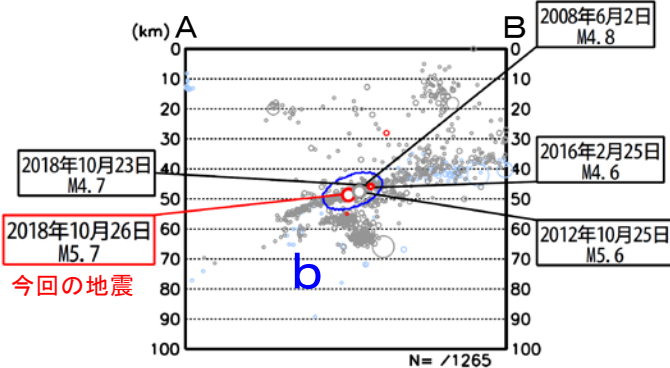
(1997年10月1日～2018年10月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$ )

東北地方太平洋沖地震発生以前に発生した地震を○、  
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を●、  
2018年10月に発生した地震を○で表示

図中の発震機構はCMT解



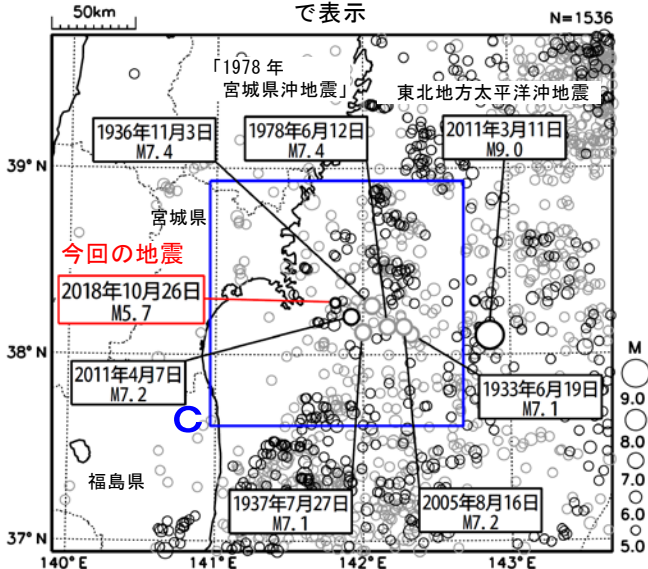
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年10月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )

東北地方太平洋沖地震発生以前に発生した地震を薄い○、  
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、  
で表示

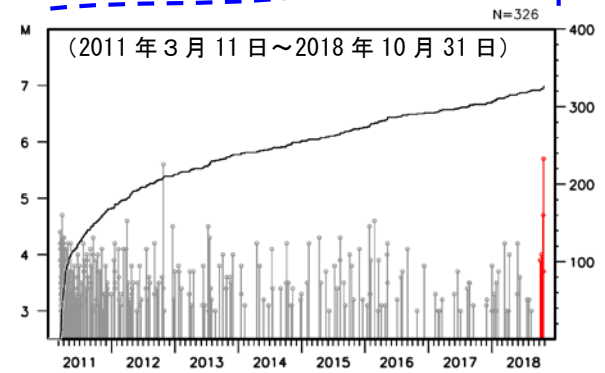
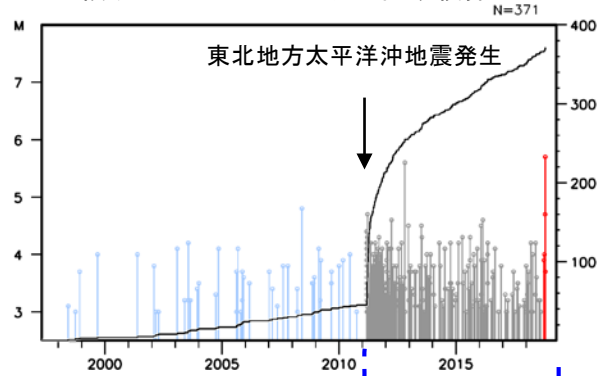


2018年10月26日03時36分に宮城県沖の深さ49kmでM5.7の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、同月23日20時06分にこの地震の震源付近(領域b)でM4.7の地震(最大震度3)が発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が数回発生していたが、東北地方太平洋沖地震の発生以降に活発化し、今回の地震を含めM5.0以上の地震が2回発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「1978年宮城県沖地震」(M7.4、最大震度5)が発生し、死者28人、負傷者1325人、住家全壊1183棟等の被害が生じる(「日本被害地震総覧」による)など、M7.0以上の地震が7回発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

